

商店上棟式詞

此れの所に神籬を立て、招ぎ奉り令坐奉る掛巻くも畏き
親神天理王命の御前に慎み敬い恐み／＼も白す
親神の広く深き御恵を嬉しび奉り辱けなみ奉りて ○○
家はも生業の道いと順調に 尚家族一同明るく壮健に暮
されしが この度旬満ちて これの東京都八王子市○○
町一二三番地一号十五坪余なる土地に 鉄骨軽量コンク
リート仕上三階建壺棟 此建坪三十坪なる美容店△△及
び住宅を株式会社△△△の設計及び施工のもと ○○○○
氏名義にて設け奉らむと 去る○月十五日地鎮祭並びに
起工式を執り行いしが 事始めたる工事滞うる事なく恙
なく彌進みに進みて 今し棟木取り上げむばかりに成り
たるを以て 今日を生日の足日と上棟の儀式執り行うと
先ず事の由を告げ奉らくと御前に御酒御食海川山野の種々
の味物を置き高成して捧げ奉らくを 甘らに安らに聞食
し諾い給いて 諸人等が諸手に取る綱根の只一筋に曳き
上げ奉る棟木の緩みなく やがて取り付けむ桁梁の損な
い動き鳴る事なく 内造りの最中も怪我あやまち無く守
り幸い給い 予め定める設計のまに／＼平けく安けく竣
工えしめ給い これの美容店△△を訪れるお客達の心も
形と共に澄み切り ○○家の家族一人ひとり相和し相
救け合い思召される陽気ぐらしの実を示し これの地域
社会に互いに睦び親しむ一列兄弟姉妹の輪を次々と拡が
り奉らしめ給えと恐み／＼も乞い祈み奉らくと白す